

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

MIZUHO

Dated of 2024/02/13

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.88	-0.03
JPY/THB	0.2403	-0.0004
USD/JPY	149.35	0.06
EUR/THB	38.65	-0.09
EUR/USD	1.0772	-0.0012
USD/CNH	7.215	-0.003
SGD/THB	26.69	0.00
AUD/THB	23.43	0.00
USD/INR	83.00	-0.03
USD Index	104.17	0.06

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.268	-0.001
10Y (THB)	2.571	0.001
5Y (USD)	4.137	0.000
10Y (USD)	4.179	0.004

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,018.2	-5.1
WTI (Oil)	76.92	0.08
Copper	8,235.0	66.0

## Stock

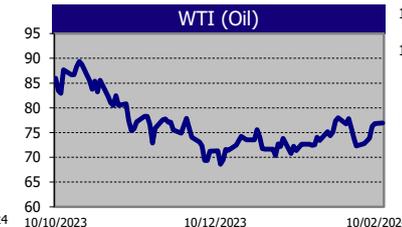
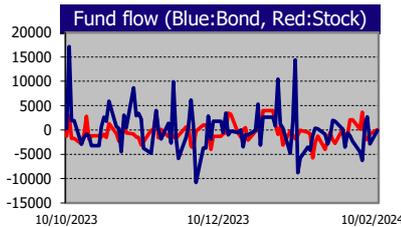
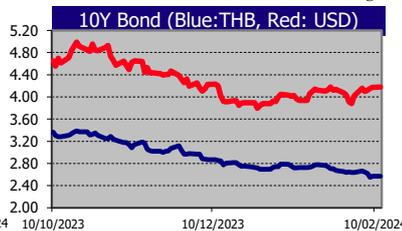
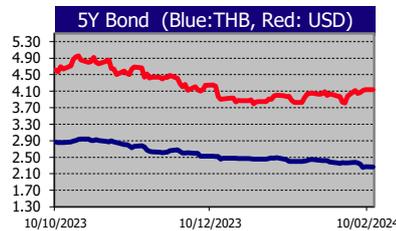
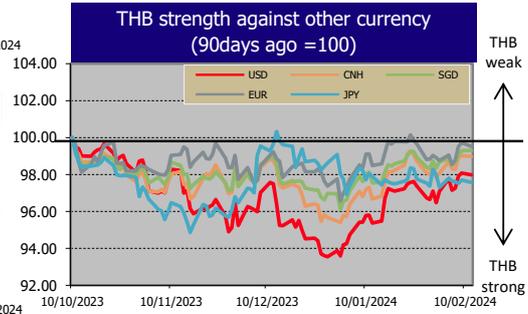
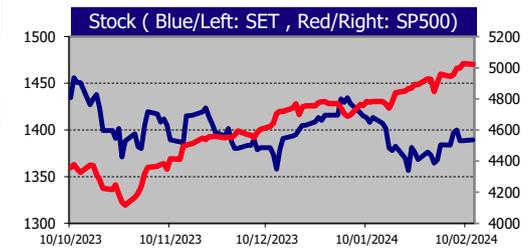
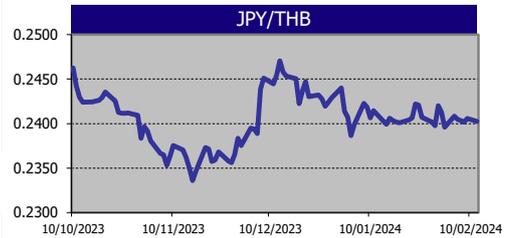
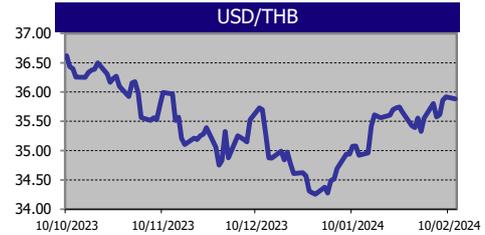
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,389.30	0.93
NIKKEI (JP)	36,897.42	0.00
DOW (US)	38,797.38	125.69
S&P500 (US)	5,021.84	-4.77
SHCOMP (CN)	2,865.90	0.00
DAX(GER)	17,037.35	110.85

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	66	925.2
Bond net flow	(142)	2750.6

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

昨日のドルパーツは僅かに下落。35パーツ後半で取引を開始。朝方は売買が入って若干慌ただしく動いたが、オンショア市場終盤にかけては、直近におけるパーツ安圏にあったことでパーツ買い戻しが優勢。その後、米時間の朝方に何件か起債の報せを受け、米金利上昇にサポートされてドルパーツは下げ幅を縮小。しかし、終日方向感に欠ける展開は変わらず、35.88レベルで引けた。

### ●ドル円その他

昨日のドル円はほぼ変わらず。149円台前半で取引を開始。昨日は日本、シンガポール、香港とアジアの主要市場が全て休場で参加者が少なく、米金利が低下する中でドル円は小幅に下落。その後の海外時間でもしばらく上値重く149円を割り込んだが、起債が複数アナウンスされて長期主導で米金利が上昇。加えて、パウマンFRB理事からも「利下げを考えることは時期尚早」である旨のタカ派発言があり、ドル円は149円台半ばまで反発。終盤には調整が入り前日比ほぼ変わらずの149.35まで戻して終えた。

## Bangkok Dealer's Eye

本日夜間に発表される米1月総合CPIは、現時点で前年同月比+2.9%と予想されています。もし、予想通り若しくは予想を下回ると、2021年3月以来の伸びの低さです。エネルギー及び食品価格を除くコアCPIも12月分から鈍化が予想されているため、鈍化すればFRBの利上げがインフレ抑制に効果的だったという評価となります。そうすると、FRBメンバーとしては昨年大幅に上方改定されて鬼門となったCPI年次改定も今回は上手く乗り越え、一安心といったところかもしれません。しかし、米国では労働市場の好調さを背景に、賃金の伸びが鈍化しているといえ、安定した賃金上昇による堅調な米個人消費が物価上昇を支えるという構図にあるため、今しばらくFRBが手綱を緩めることには慎重にならざるを得ないと思います。あるデータによると、ニューヨークでは1960年代以来見られなかったレベルで住宅不足に陥っていて、市内全体の空室率は1.4%しかなく、5%未満は明らかな供給不足と定義されている中、状況は深刻です。こうした旺盛な住宅需要は住居関連サービス費の高止まりとしてCPIに反映されていくため、CPIコアが総合CPIのように3%を下回るまでには相応の時間を要すると見られ、FRBメンバーが経済指標を静観しなければならない状況を長引かせる可能性があると考えています。(鈴木)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.